

地域住民のご意見とその対応ーその他

No	分野	項目	主な意見	意見者					ご意見	回答案	
				縦覧 コーナー (意見箱)	インター ネット等	説明会	FAX	はがき			
1	治水	計画の考え方	目標の考え方について示して欲しい	<input type="radio"/>					6ページ「年超過確率 1/300」について、S34年からの期間で考えると、50年以上過ぎており、30年に1度の確率といえるのか？	昭和34年8月洪水は、戦後最大規模の流量が発生しましたが、これは当時の雨量観測データからの推算流量であるため、目標規模については雨量データの確率評価により、概ね1/30としました。	
2			現在の工事の根拠を示して欲しい			<input type="radio"/>			現在進行中の工事はどの計画に基づいて実施されているのか。	河川整備計画には現在進行中で完了していない工事も含まれています。進行中の工事は工事実施基本計画および平成11年の都市計画決定に基づいたものです。	
3			整備区間について教えて欲しい			<input type="radio"/>			パンフレットP7に記載の整備計画期間における整備区間は現在実施しているものは含まれていないのか。		
4			目標や計画を具体的に示して欲しい	<input type="radio"/>					パンフレットP6「地域の魅力や活力を引き出す川づくり」についての目標や計画に具体性が不足していると思われる。この目標に対して河川整備がどの様に違うのかを明らかにされたい。	国管理区間の整備につきましては、梯川水系河川整備計画に基づき、上下流及び本支川の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に河川整備を進めていきます。具体的な整備を実施する時期は、各区間の整備状況や地域情勢を踏まえて検討していきます。	
5				<input type="radio"/>					河川整備に関し、日々ご尽力いただきありがとうございます。P6 4.1洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標とありますが、具体的な進捗状況(到達点)として示せないものでしょうか？		
6		整備の進め方	河川整備を着実に実施して欲しい			<input type="radio"/>			私自身は水害の経験はないが、天神町のあたりや自動車学校の周辺では、少しの雨ですぐに水がたまり、水田が真っ白になることをよく聞く。	河川整備の目標を実現できるよう、今後も計画的かつ着実に河川整備、管理に取り組んでいきます。	
7						<input type="radio"/>			近年の雨は集中して降っているように感じられ、これぐらい降っても大丈夫なのかと心配になる場合もある。また、昔の河川は蛇行していたが、今は直線化して水の集まりが早いのではないのか。		
8							<input type="radio"/>				P7 堤防の拡幅、築堤等はスピード感を持って実施して頂きたい。
9							<input type="radio"/>				見やすいパンフレットだった。写真を鮮明にしたほうがよい。洪水時の浸水被害の防止を重視してほしい。
10							<input type="radio"/>				1日でも早く堤防を整備して下さい。パンフレットの内容等については、見やすく、わかりやすいと思います。
11								<input type="radio"/>			〈パンフレットP3〉計画断面堤防整備率が40%と低い状況とありますが、梯川は毎年のように漏水、出水が発生しているように感じます。大きな災害は起きていませんが、近年のゲリラ豪雨など、局所的な集中豪雨などにより全国的に災害が発生していますので、20年計画の中でも堤防改修事業を最優先に実施して下さい。
12								<input type="radio"/>			パンフレットP3 洪水時の水位上昇、河積の不足の課題に対する防止・軽減対策を早期に実現して下さい。
13								<input type="radio"/>			【パンフレットP3】堤防の安全性について。昭和54年頃まで、梯川白江地区に住んでいました。大雨時には漏水があり、大変だった記憶があります。平成25年の洪水で梯川近郊の学校にも影響を及ぼすのではないかと経緯を見守る中、大事には至りませんでした。近年のゲリラ豪雨などを考えますと、JR・国道等の分断が発生する確率は上がると思います。堤防改修事業が必要ではないのでしょうか。
14						<input type="radio"/>					梯川については、過去に大きな浸水被害があっただけではなく、近年にも計画高水位に近する水位まで高まった事例があるとのことと、さらなる治水安全度の向上に向けて河川整備の方を進めて頂きたい。
15								<input type="radio"/>			近年多発するゲリラ豪雨等により、梯川の洪水氾濫リスクは高まっています。そのための河川整備も毎年着実に進められている事を感じています。
16						<input type="radio"/>					2.現状と課題 P3 H25.7月の洪水では佐々木町～荒木田町にかけ梯川の水位が上昇し、はんらん寸前で早急に解決策をお願いしたいと思います。
17						<input type="radio"/>					P6 4.1 洪水等による災害発生防止 近年、自然災害が想定外レベルで多発している事を考えると早急に整備してもらいたい
18						<input type="radio"/>					P2 水害の歴史で 平成に入ってから4度、水位上昇に伴う洪水被害発生しているため河川幅の拡幅や堤防のかさ上げなど対策を早急に行なってほしい。
19						<input type="radio"/>					1.2 治水の沿革(P.2) 古くから改修工事を行っているようですが、延々として効果が表れていない印象を受けます。迅速かつ効果的な事業の対応を望みます。
20						<input type="radio"/>					P8について、「河川環境の整備と保全に関する事項」小松市街地については、低平地であることから、ひとたび氾濫するところにより甚大な被害が発生することから、河川整備において実施することに意義があると思います。
21						<input type="radio"/>					パンフレットの3頁で、堤防整備率の低さ、河道断面不足、堤防の脆弱さにより甚大な被害が生じるとあります。であれば、所定の安全性を確保するための対策を迅速に講じる事が最優先と考える。
22						<input type="radio"/>					1 .P3 近年ゲリラ降雨が多いのに、河川整備の進みがおそくないでしょうか？道路より河川では？
23						<input type="radio"/>					6ページ 雨が降ると洪水が心配のため、対策が必要だと思う。
24						<input type="radio"/>					P6 4.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標について 最近ゲリラ豪雨が多く洪水が心配なので、家屋等の浸水被害を受けないような河川整備をしてほしい。
25						<input type="radio"/>					改修は徐々に進んでいるものの「2.現状と課題」にあるように近年の取水でも内水被害等の発生や堤防の安全性に不安があります。完成までまだ20年と長い道のりですが、現状の豊かな自然環境を極力維持しつつ、かつ改修効果が早期に効率的に実現するよう願っております。
26						<input type="radio"/>					P3 堤防整備率が低い状況については埋蔵物の発掘を早めるとか、文化財の移転を早めるとかで、梯川の治水を急いでもらいたい。
27						<input type="radio"/>					P7 5.1.1 河道掘削等、防災に対する取組を早期に実施し、地域の安全を確保してください。
28						<input type="radio"/>					5ページ 河川整備に計画策定から20年とありますが1日も早い完了を期待します。
29						<input type="radio"/>					P7について、5.1.1洪水等による災害の発生について、H25年度の際は自宅周辺が川より低い位置にあるということで家族皆不安になった記憶があります。河道の方を拡げる工事の方を施工されていらっしゃるが、梯川については、地元の方も早急な河川改修を望んでいるので、今まで以上に治水安全度の確保に取り組んで頂きたいと思います。

No	分野	項目	主な意見	意見者					ご意見	回答案						
				縦覧 コーナー (意見箱)	インター ネット等	説明会	FAX	はがき								
30	治水	整備の進め方	整備スケジュールを示して欲しい			○			白江大橋より上流の拡幅はいつ頃から着手されるのか。	白江大橋下流の整備状況を踏まえ、上流の整備に着手します。現在、白江大橋より上流は、埋蔵文化財調査を実施中であり、能美大橋より上流は、測量、用地買収を進めています。						
31							○		P7 5.河川整備の実施に関する事項① ■堤防の拡幅・築堤、河道掘削、護岸整備 JR北陸本線梯川橋梁付近(3.6km付近)はボトルネックとなっている。今後の改修計画について具体的な予定があれば明記頂きたい。	具体的な整備を実施する時期は、各区間の整備状況や地域の情勢を踏まえて検討していきます。						
32								○		■梯川逆水門のゲート高の確保 具体的な施工内容、時期がわかれば、明記頂きたい。						
33								○		P5より計画対象期間は、この先20年と分かるのですが、ネックとなっている小松大橋の改修する概ねの時期を示した方が良くと思います。						
34								○		古府のかくちょうはいつごろからはじまりますか？						
35					○					P5.8 河川氾濫が頻繁に発生しているため、より具体的な整備時期を示してほしい。						
36		整備方法・整備箇所等	整備の進め方について教えて欲しい	○					今、行われている工事は下流中心で、上流は心細くなるほど川幅が狭い。上流部や鍋谷川での改修も重要ではないか。能美市に効果があるような対策があれば教えて頂きたい。	河川整備の目標を実現できるよう、今後も計画的かつ着実に河川整備、管理に取り組んでいきます。なお、鍋谷川整備のご意見は管理者である石川県にお伝えします。						
37											○			〈質問〉耐震補強工事は既に完了しているが、同時期に出来なかったのか？(特に他意はありません)	梯川逆水門の耐震補強工事は緊急性の高い事業であったため、単独で実施しました。	
38			整備効果について教えて欲しい					○	P3.現状と課題について 国管理区間12.2kmのうち、40%ほどしか堤防整備がされていない現状で、近年の豪雨によって、さまざまな被害が出そうである。堤防整備等の計画期間は、概ね20年と長く、5～10年間にどこまで整備がすすみ、被害を防ぐことができるのか地域住民に周知することが必要ではないでしょうか。	具体的な河川整備を実施する時期は、各区間の整備状況や地域の情勢を踏まえて検討していきます。河川整備が進むことによる被害軽減効果については、事業評価や事務所HP等、適切な時期、機会にてお示していきます。						
39			堤防整備以外にも整備の方法があるのではないか							優良農地の減少を最小限度にとどめて下さい。	整備計画目標流量を安全に流下させるための方策として、複数案の比較を行い、経済性、社会的な影響、実現性等を踏まえ、堤防拡幅を最適案として選定しています。					
40												○				川幅を大幅に引くよりも上流にダムを設置すべきである。
41										○						P7 洪水の災害防止を軽減する事項の一番の対策が拡幅なのか？
42										○						小松市街地内の沿岸の開発が進み、早急な対策が必要となる区域において、必要な堤防幅を確保できるだけの用地があるのか。
43				○					洪水のたびに浸水被害が発生していますが、ポンプ場設置や大規模地下貯留施設などは整備できないのでしょうか。	ポンプ場等の流域での対策は基本的に流域自治体が主体となって実施するものです。また、梯川の川幅を拡げることで、内水を受け入れることも順次可能となっていきます。						
44		個別箇所	個別箇所の要望等						平成25年出水時になぜ前川ポンプ場を停止したのか。操作規則がおかしいのではないか。	いただいたご意見については、本河川整備計画の立案に向けた議論の枠をこえているものと考えます。						
45										○				4. 前川排水機場操作規則を見直してください。 梯川から前川への逆流が発生した時のポンプの停止をやめてください。渦によるゲートへの負荷の言い訳は水流への過度の思い込みであり、相当の負荷が予想されるのなら、水理計算による詳細な検討を開示ください。	いただいたご意見については、本河川整備計画の立案に向けた議論の枠をこえているものと考えます。	
46											○				前川を直接日本海へ排水すればよいのではないか。	前川については、平成17年に石川県が前川圏域河川整備計画を策定済みです。いただいたご意見については、管理者である石川県にお伝えします。
47		減災・危機管理対策	適切な情報提供をして欲しい	○					P9 5.河川整備の実施に関する事項② 水防、避難に資する適切な情報提供で、ハザードマップ公開先(インターネット・ホームページの閲覧場所)を提示した方が親切	金沢河川国道事務所では、インターネットや「広報かけはしがわ」を通じて防災情報を周知しているところです。また、水防演習等も定期的を実施しています。今後とも、梯川水系河川整備計画(案)「第5章第2節第1項7.3)水防、避難に資する適切な情報提供等、4)防災教育の支援」に記載しているとおり、自治体や住民の方がわかりやすいものとなるよう、提供方法等について今後も引き続きよりよくなるよう検討してまいります。また、地域の持つ課題を共有し、協働して地域防災力を向上させる取り組みを推進していきます。これらの取り組みを理解いただき、地域の防災訓練等にご参加いただければと思います。						
48		内水対策	関係機関と連携した内水対策を実施してほしい						梯川逆水門の周辺では平成25年出水時にも浸水が発生した。小規模なポンプを設置してもらい多少の改善が見られたが、浸水の理由として前川の水が梯川に流入できないからとの説明を受けている。説明資料の水位縦断面を見ると余裕があるため、もっと前川の水を受け入れて欲しい。	前川については、平成17年に石川県が前川圏域河川整備計画を策定済みであり、この計画にも記載されている62m3/s分を梯川に受け入れています。						
49									○					P7 内水対策:洪水になると内水被害が多いが将来的にどうなるのか？	ご意見については、梯川水系河川整備計画(案)「第4章第2項内水対策、第5章第1節第1項2. 内水対策及び第5章第2節第1項7.減災への取り組み1)流域連携による危機管理対策の強化」に記載しています。河川整備計画においては、治水上必要な外水対策の他、内水対策についても、関係機関と連携し、適切な役割分担のもとで、実施することとしています。基本的には流域自治体(小松市)が主体となり実施するものであり、ご意見については小松市にお伝えします。	
50	○												P3 内水被害の発生について 近年のゲリラ豪雨に対応するため、ポンプ排水量の検討を様々な状況において詳細にシミュレートして頂きたい。			
51										○				内水対策の協議状況について文書を公開して欲しい。本当に関係自治体と連携・調整が取れるのか疑問である。	いただいたご意見については、本河川整備計画の立案に向けた議論の枠をこえているものと考えます。	
52											○			小松市に平成25年出水時の内水排出に関する協議議事録を請求した際、ないとの回答であった。存在するのであれば提示して欲しい。また、小松市との協議状況を教えて欲しい。		
53									○					小松市中心部は、前川流域であり、前川排水機場の排水能力(62m3/s)で比流量が決まってしまう。市街地の開発が進んでいることからポンプ能力を大きくする時期だと考える。開発に見合った比流量が確保できていない。(P3)	前川については、平成17年に石川県が前川圏域河川整備計画を策定済みです。いただいたご意見については、管理者である石川県にお伝えします。	
54	維持管理	維持管理をしっかり行っていただきたい						P7[5.1 河川工事の目的～]について、河口の導流堤について記載がありませんが、補修する予定はないのでしょうか？コンクリートに大きな亀裂が生じており、危険な状態に見えます。釣り人も多いため早急な対策が必要と考えられます。	河口の導流堤については現時点で補修の予定はございません。なお、導流堤区間については、釣り等の利用を禁止しています。							
55	管理区間	県・市管理区間の整備について						石橋川の整備について小松市に要望したところ、土地改良区が担当であると説明を受けた。土地改良区によると国道8号線より上流は土地改良区、下流は小松市であるという回答であり、それぞれ管理者があるのは理解しているが積極的に連携して進めて欲しい。	石橋川は小松市、支川前川は石川県で管理する区間であり、ご意見は小松市・石川県にお伝えします。なお、上流区間についても石川県が管理する区間であり、ご意見は石川県にお伝えします。							
56										○				梯川の改修、ポンプ車の配置だけでは無理だともいますが、石橋川、坊川の改修を案にいらして下さい。		
57														○	2P 水害について ・ゲリラ豪雨対策上流部の土石流対策が必要に思った。	
58												○			国管理区間12.2kmの河川整備計画の早期推進と同時に、支川がない為、上流部での豪雨に対する対策として砂防堰堤築造等の整備も必要と思われる。	
59		○					梯川はたびたび洪水被害を起こす。原案の対象だけではなく、山の方も含めて整備してほしい。県は信用できないので国の方で責任をもってやってほしい。	国管理区間の整備につきましては、梯川水系河川整備計画(案)に基づき、上下流及び本支川の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に河川整備を進めていきます。なお、国管理区間外については管理者である石川県にお伝えします。								

No	分野	項目	主な意見	意見者					ご意見	回答案		
				縦覧 コーナー (意見箱)	インター ネット等	説明会	FAX	はがき				
60	利水	水質	土砂流入による水田等の被害が懸念される				○		先月の手取川上流域の土砂崩れにて、下流域の水田等の影響もニュース・新聞等で知り、稲作の影響が少ないとはいえ、今後、梯川で同様の被害が起き水田等の影響が懸念されます。	同様の事象が発生した場合、利水や環境への被害を最小限にとどめるため、関係機関と連携して迅速な情報伝達や対応を行っています。		
61	環境	維持管理	日々の点検や定期的なモニタリングをしっかり行ってほしい	○					P9 河川の維持管理の調査・モニタリングについて、どれくらいの頻度で行われているのか数字があった方がよりよいかと思えます。	調査、モニタリングは、各項目の特性や河川の変化状況に応じ、適切な頻度で実施して参ります。		
62				○					P9 5.2.1 堤防及び護岸の維持管理 加賀産業道路(荒木田大橋)下流の右岸には管理用道路が整備されていないと思えますが、どのように巡視や水防活動を行うのでしょうか。	ご指摘の区間については、山付区間のため、徒歩及び対岸からの目視を主体とした巡視を実施しています。		
63		地下水について	地下水への影響はいかがか					○		地下水の低下はないのか	河道掘削を行う際、鍋谷川合流点より上流の自然流下区間は現在の河床高を大きく変更しないよう掘削を行っています。そのため、地下水への影響はないと考えられます。	
64	全般	計画対象期間	計画対象期間の定義が理解しにくい	○					P5・計画対象期間20年間だけでは大雑把すぎる ・課題や目標と合わせて具体的に示してもらわないと意見の書き様がない	計画対象期間は河川整備計画が策定された時点から概ね20年間となります。 具体的な整備を実施する時期は、各区間の整備状況や地域情勢を踏まえて検討していきます。		
65				○							財政状況もあるので難しいと思いますが、整備目標年次(段階的)を示して欲しい。	
66					事業を早期に進めて欲しい			○				何度か地元説明をしてもらっており、住民も納得している。事業を進めて欲しい。
67				○								P5 河川整備をもっと早く進めてほしい。まだ20年かかるのは残念。
68								○				できるだけ早く整備を進めて下さい。
69					具体的なスケジュールを示して欲しい				○			P7-P10 実施内容に対するスケジュールが記載してあると良い。
70				○								パンフP6 整備計画というならば、方針に終わらず目標とするタイムスケジュールの概略ぐらいは示していただきたい。
71				○								P6 目標が網羅的で、具体的な計画(案)がありません。重点目標を定め確実に達成する計画(案)を提示して下さい。
72				○								「河川整備計画の目標に関する事項」では、目ざす方向性は記載されていますが、具体的にいつまで・何をするのか記載されていないので、記載しては?と思います(おおむねでもよいので・・・)
73				○								県管理では不安なので、全川国管理として欲しい。
74	○							(P6:4.1)災害時には、小松市や石川県との連携も重要になってくると思います。(ダムや小河川ともつながっていますので)その点がどうなっているのか、ある程度示してほしいです。				
75	事業の進め方		国主導で進めて欲しい			○			国が主導し、県や市に指導し整備を進めて欲しい。	関係自治体(市、県)と情報共有、調整を図り進めてまいります。		
76					○					5. 整備計画(原案)の予算規模をしりたい。	梯川の近年10ヶ年の事業費は16億円から40億円であり、これまでの堤防の整備状況から年間の予算規模を20億円と想定しています。ただし、今後の予算は、社会経済状況等変化があった場合は見直しを行います。	
77				○							P5 整備の事業費を記載	
78	その他	表現方法	効果を明確に示して欲しい				○		3ページの写真等により、最大時の排水能力を向上する必要がある事は理解できました。7ページの河川整備の実施によって、現在に比べ、何倍排水能力が向上するののかといった情報や、整備費についても記載してはいかがでしょうか。	整備効果については、事務所HP等適切な時期、機会を踏まえお示していきます。		
79				○								河川整備のBeforとAfterを明確にして、効果を提示して欲しい。
80					断面を示して説明して欲しい		○					1.原案全文第3章2.洪水時の水位上昇、河道断面の不足(図3.3)について 計画洪水流量が流下した場合、計画洪水水位を超過する区間との文言がありますが、「計画洪水流量が流下した場合、計画洪水水位(建設時)を超過する区間」ということですね?だから、河川断面を拡幅したり(河川整備)したいとのことですね。附図-14の河川断面にも工夫をして、現況断面に計画洪水流量を流下させた場合の洪水水位と河川整備した場合の洪水水位が比較できるようにしたほうが解り易くないですか。上記を同時に見せると、河川整備の意義がより明確に伝わると思います。いかがでしょうか。
81	その他	感想	具体の実施箇所が知りたい	○					P7~10・課題-目標-計画の関連性がよくわからない ・20年間ですべての整備を行えるとは到底思えない。重点項目と優先性を示すべき ・国として何がしたいのかが不明確。意見を求めるのであれば方針や方向性を示すべき	具体的な内容については、梯川水系河川整備計画(案)本文及び附図を参照していただければと思います。		
82				○								現状と課題に対して、取組みがリンクしていないように思える。
83				○								現状と課題では、H25年7月洪水の際に、堤防の法崩れが漏水やガスの発生など、もう少し長く水位上昇が続くと被害が発生する可能性があることが理解できました。
84				○								梯川は、治水が必要な河川として認識できた。
85				○								P6の4.11において、梯川は天井川であり堤防の機能が確実に発揮するように耐震性能調査や構造について考えられていて、安心できる。
86				○								P7の5.1.1の内水対策における具体的な内容の記載や現堤防の質的整備についても考えられているので、わかりやすいと思う。
87								○				小松市の開発行為による流出量の増分をきちんと把握しているのか。
88									○			市民の安全のために、がんばって下さい。(特に意見はありません)
89									○			【パンフレットP3】洪水に強い河川整備がおこなわれていることが良くわかります。
90											○	7/7日(水)、車を運転中にラジオで河川の番組を聴きました。その時、4回のシリーズだと知り、4回共楽しく聴かせてもらいました。分かり易く楽しいお話でした。ありがとうございます。
91				○					P3、4 これまで近くに住んでいながら、梯川がどのように整理されて、管理されていたのか知ろうとする機会がなかったので、今回が良い機会となりました。			

No	分野	項目	主な意見	意見者					ご意見	回答案
				縦覧 コーナー (意見箱)	インター ネット等	説明会	FAX	はがき		
92	その他	情報発信	もっと情報発信して欲しい		○				6. 会議の告知期間が短い 住民の説明会、有識者委員会等の開催日がプレス発表から1週間以内は短い関心のある国民が毎日、北陸整備局のホームページを閲覧しているのではない。会議の告知の再検討をお願いします。特に有識者委員会の開催にあたっては委員の日程等確保のため、1ヶ月前に判明しているはずである。	会議の告知にあたっては委員の日程調整等が終了次第速やかに実施しています。告知期間は他河川の事例をもとに設定をさせていただいております。ご指摘については今後の会議開催に参考にさせていただきます。
93							○	全体について 住民の感心のないのにおどろいた。知らないのかも知れない。PR方法を再考する必要がある。参加者は3~4人程であった。もっと参加してもらえる方法、いろんな機会(土地改良区、農協商工会、工業会など)にはたらきかけては。	多くの住民の方に関心を持って頂けるよう、今後このような機会があれば、当事務所の情報発信方法について検討してまいります。	
94				○					情報発信も様々な方法で取り組まれています、その入手方法についてももう少しスピーアールしていただければと思います。	
95		パンフレットについて	パンフレットをもっと見やすくして欲しい				○		P3.4 現状と課題となっていますが、何が課題なのか？どうあるべきなのか？の強弱を付けたり、箇条書きで要点を列挙した方が読み易いです。1つ1つ文章を読まないといけないので読むのに時間がかかります。	ご意見については、今後の当事務所の情報発信に活かしてまいります。
96							○		全体 色合いも見易く、文章も理解し易くて良いと思います。しかし、標題と本文が一致していないように思います。(例えば「課題」と書いてあるのに「現状」しか書いてない等…)一度精査し、標題の変更をした方が読み易くなるかとも思います。	
97				○					5ページの表示方法 北陸本線、北陸自動車道の文字があるが表示なし。	
98				○					P1、P5 流域図に校区界又は町界があると、地元はどこにあるかが明確になる。	
99				○					P7 築堤等実施箇所は地図が良い！ 全体について、文字が多すぎる。図、表、写真の方がありがたい。	
100				○					「3.1」の計画対象区間の図にも「1.1」の流域図くらいの凡例をつけてはどうか。	
101							○		文章に対応する図や写真があるとよりイメージしやすい資料になると思います。	
102							○		また、住民にとって、整備計画を文字で表現しても伝わりにくいと思います。将来像を図面や絵で表現し、理解しやすくすることが必要だと思います。	
103							○		どの地点がいつまでに改修されるのか示してほしい。住民から意見を求める概要としては、内容が難しい(細かすぎる)。	
104							○		(3・4ページ)他のページと体裁が異なると思うのですが。	
105							○		パンフレットのP5の図中に「北陸本線」とあるが線がない。「5.河川整備の実施に関する事項」P7~10で、5.1と5.2項目の内容、タイトルが少し理解しづらいです。「4.～」とリンクしていると思うのですが…	
106							○		ページ全体について、文字が多いように思われます。又、文字も全体的に小さいので、中を読んでいると先に読んだ事が分からなくなってきました。もう少し文字を減らして、図や写真を増やして、見やすい構成にした方が良いと思います。	
107							○		全体:文章が非常に多いので、詳しく分かってよい反面、読むのに時間がかかります。	
108							○		「1.1 流域及び河川の概要」(1ページ目)について、文章がページの多くを占めており、読みづらさを感じました。梯川の流域の特徴を読み取りやすくすると良いのではないかと思います。	
109				○					全体的に地域住民向けとしては読み難い。例えば、文字が小さい。活字が多い。専門用語が多くて解り難い。	
110				○					よくまとめられていると思うが、住民説明用としては文字が多すぎ。地図や絵を主に説明した方がよいと思う。たとえば、P7 5.1.1の表は地図にした方がわかりやすいと思う。	
111				○					使っていることばに専門用語が多く住民は理解出来るのか？	
112				○					ただ、文字が多く、もう少し図や写真などがあると、川に関する知識がない人でも読みやすく、理解しやすいと感じました。	
113				○					全体 市民には数値が大きいのか小さいのか不明	
114				○					全体的に細かく説明されてはいるが、難しい用語(専門用語)がたくさん使われており理解しにくい。	
115				○					いろいろな計画をされるとは思いますが、パンフレットの文章が多すぎて分かりづらいつ感じました。	
116				○					パンフレットの全般を通し、字が多すぎて非常に分かりづらい	
117				○		〈全体的)文字が多く文章ばかりなのでイメージが掴みにくい(ポンチ絵やフローなど)また航空写真などを活用して位置把握や説明を入れれば、どの場所で問題や対策、今後の課題等の説明も分かりやすくなるのではないかと思います。				
118	○					具体的な数値が記載されていて良いと思いますが、専門分野の人以外は大きい数値なのか？適切な数値なのか判断できません。イメージできるような例(対比するもの)があると良いと思います。				
119	○					パンフレットの対象者にもよるが、全体的に文字が小さく多いので、読む気を削ぐ。一文が長く、もりこみすぎでわかりづらい。				
120	○					全体的に文字が小さく読みづらく感じる				
121	○					P3~4・現状と課題が詳細に示されており、今後対策を必要とする事項が明確でわかりやすい				
122	○					P1 上流部のコメントと中流部のコメントに一行あきがあるが、下流部にあきがない。				
123	○					P1の上流部とP4の上流部は、記載内容から示している場所が違う。(P1は中流部がP2の産卵場、P4は上流部がP2の産卵場)	パンフレットp1は流域としての上流部、p4は国管理区間としての上流部を示しています。			
124	○					その他道路整備を含めた、総合的、多目的利用等があれば、示して欲しい。	いただいたご意見については、本河川整備計画の立案に向けた議論の枠をこえているものと考えます。			
125	○					P3~4 2.現状と課題 課題がどこに記載されているか不明瞭	パンフレットは河川整備計画の概要を示しています。ご意見を踏まえ、河川整備計画では文章、図表を用いて具体的な内容を記載しています。			